

4年	科目	文学特論	講義	通年	担当	渡邊敏彦 WATANABE Toshihiko
制御情報工学科		literature	必修	2履修単位		
授業の概要						
文学作品の読解を通して日本文化への理解を深めるとともに、精神の成長や情操の育成、想像力および感受性の練磨をはかり、技術者の社会的役割と責任を自覚する態度を培う。それと同時に読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、国際社会で活躍する技術者として求められる思考力、コミュニケーション能力、表現意欲、および感受性を身に付ける。						
			目標	説明		
			1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度		
			2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力		
			3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力		
		○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力		
			5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢		
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
D. コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力	(D1) 日本語で、自己の学習・研究活動の経過を報告し、質問に答え、議論することができる。			(D1-3) 自己の学習・研究活動の経過を、専門用語を正しく用いて、報告できる。		
授業目標						
1. 日本語による表現についての確な理解力・表現力を身につけ、自己の学習・研究活動の経過を、専門用語を含む適切な語句を正しく用いて報告できる。(D1-3)						
授業計画						
第1回	ガイダンス、文学作品読解	教育目標・授業概要・評価方法等の説明、「坊っちゃん」(夏目漱石)読解				
第2回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第1課「ことばと表現を知ろう」				
第3回	文学作品読解	「最後の一句」(森鷗外)読解				
第4回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第1課「ことばと表現を知ろう」				
第5回	文学作品読解	「鼻」(芥川龍之介)読解				
第6回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第1課「ことばと表現を知ろう」				
第7回	文学作品読解	「清兵衛と瓢箪」(志賀直哉)読解				
第8回	前期中間試験					
第9回	文学作品読解	試験解説、「よだかの星」(宮沢賢治)読解				
第10回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第1課「ことばと表現を知ろう」				
第11回	文学作品読解	「山椒魚」(井伏鱒二)読解				
第12回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第1課「ことばと表現を知ろう」				
第13回	文学作品読解	「セメント樽の中の手紙」(葉山嘉樹)読解				
第14回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第2課「話してみよう」				
	前期末試験					
第15回	文学作品読解	試験解説、「路傍の石」(山本有三)読解				
第16回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第3課「敬語・敬意表現を使おう」				
第17回	文学作品読解	「黄金風景」(太宰治)読解				
第18回	文学作品読解	「名人伝」(中島敦)読解				
第19回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第4課「書いてみよう」				
第20回	文学作品読解	「潮騒」(三島由紀夫)読解				
第21回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第4課「書いてみよう」				
第22回	後期中間試験					
第23回	文学作品読解	試験解説、「おきみやげ」(幸田文)読解				
第24回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第5課「分析と考察をしよう」				
第25回	文学作品読解	「赤い繭」(安部公房)読解				
第26回	日本語表現	『大学生のための日本語表現実践ノート』第6課「就職活動の準備をしよう」				
第27回	文学作品読解	「童謡」(吉行淳之介)読解				
第28回	文学作品読解	「途中下車」(宮本輝)読解				
第29回	文学作品読解	「沈黙」(村上春樹)読解				
	後期末試験					
第30回	まとめ	試験解説、授業アンケート				
評価方法と基準	4回の定期試験の平均を80%、課題提出を20%の重みとして評価する。授業目標(D1-3)が標準基準(6割)以上で、かつ科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。					
教科書等	『現代文学名作選』(明治書院)、『大学生のための日本語表現実践ノート』(風間書房)					
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					